

平成27年度 第1回学校評議員会 報告

平成27年6月30日(火)

15:50~17:18

場所:盛岡二高 応接室

進行:副校長 記録:総務課

○出席者 学校評議員 3名 学校職員 9名

○日程 14:30 受付 14:45 授業参観 15:50 評議員会(～17:18)

1 開会のことば 【副校長】

職員・評議員 自己紹介

2 校長挨拶 【校長】

学校評議員をお引き受けいただき、本日学校評議員会に御出席いただいたことに感謝する。この制度は、「開かれた学校づくり」を推進するために、多様な立場の皆様からご意見を頂戴し、学校運営に反映させることを目的としている。授業を参観して、あるいは学校の様子の説明などを受けて、皆様から忌憚のないご意見やご提言をいただきたい。1年間よろしく願いしたい。

3 平成27年度学校経営計画

(1) 運営方針について(資料:平成27年度盛岡第二高等学校経営計画) 【校長】

平成27年度当初の生徒数は605名、職員数は52名。

校訓の白梅精神「進取・清楚・強健」のもと、精神面の鍛錬と積極的な行動を促している。

学校経営計画に沿って説明する。

ア 現状把握及び将来展望

学校に対するニーズについては、いろいろな場面での意見や感想を踏まえているものであるが、ご意見をいただきたい。今年度の一般入試の倍率は1.33倍で、公立高校普通科の中で最も高かった。今後も女子中学生が入学したいと思う、よい学校にしていきたい。

PTA総会に多く参加してもらおうと、体育の授業見学を設定したところ、161名の参加者があった。中学校との関係では、昨年11月に盛岡市の中学校と盛岡地区の高等学校・特別支援学校の校長との合同会議を、本校で開催した。授業参観後、様々な感想があった。

イ 目指す学校像

「文武両道」と「可能性への挑戦」を柱としている。「知・徳・体」バランスのとれた生徒を育てたいと考えている。

ウ 今後の取組方針

学力向上・進路希望実現、部活動・特別活動等の充実、心身の健康、豊かな人間性の育成、開かれた学校づくりの推進、組織力の向上とコンプライアンスと復興教育・防災教育の推進を掲げた。数値目標としては、国語・数学・英語の授業のわかる割合と平均正答率、自分によいところがあると思っている割合、二高に入ってよかったと感じる割合等を取り上げた。

(2) 各課の重点目標 【各課主任】

ア 総務課

○庶務・行事等の円滑な運営

儀式、セレモニーは歌を取り入れて行っている。折り目節目で式を大切にしていきたい。

○PTA活動の活性化

PTA総会への参加は、例年70～80名。今年度は体育館で授業公開を行った。昨年2倍の161名に足を運んでもらった。さらなる協力体制を構築していきたい。

全国高P連岩手大会が8月19日から21日に1万人規模で開催される。本校も1500人が参加する県民会館の第二分科会において、重要な役割を担う。当日、PTA理事を中心に、30名動員する。

○同窓会との連携促進

平成29年度、創立120周年を迎える。協賛会を立ち上げ、記念事業を行う。特に、同窓会の協力、連携を進めたい。130周年に繋がる120周年事業を行いたい。

イ 教務課

○学力向上の推進

チャイム～チャイムの55分間の授業を生徒も教員も完全実施する。教員側においては、生徒に教えて考えさせる授業を身につけるため、年に2回の公開授業を実施している。観点別評価は、前期末までに正式に目処をつける。

家庭学習調査によると、家庭学習が2時間にならない生徒やゼロ時間の生徒もおり、指導を強化したい。特に、金曜日にゼロ時間の生徒が多い。

高大連携の推進については、毎年10名程度の生徒が岩手大学の高大連携講座に参加している。

○地域への情報発信

中学生の一日体験入学については、昨年度の参加者数がやや減少したが、高校入試の受検者数は増加しており、本当に二高に入学したい生徒が体験入学に参加している。入試事務は、今年度から変更するので、研究を深めていきたい。

ウ 生徒指導課

公立高校で女子校は盛岡二高だけ。次の3本柱で生徒の指導を行っている。

○生徒の規律の確立

他の高校より厳しく指導している。長い髪は結わせ、スカート丈についても明確な基準を設けている。まじめさ、勤勉さが二高生の特徴である。スマホ・SNSについての問題は、他校でも頭を悩ますところではあるが、長時間の使用やトラブルの発生など、共学よりもリスクが高いかもしれない。

○生徒会活動

学校行事はすべて女子生徒で行うので、男子並みの活動を行っている。人間的な強さの指導をしている。応援団活動についてもやりたいという生徒は多い。女子校の特徴を生かして生徒指導をしたい。

○安全指導

マナー・ルールに関しては、社会の目は厳しい。指摘や苦情もある。生徒をどう守るか・・・という時代であると感じている。自転車事故については、緊急の時に大人と同じ対応ができるように指導したい。

エ 進路指導課

○進路希望の実現

国公立大学60名という目標を達成するための方策を考えたい。昨年は国公立大学合格者が29名であった。国公立大学の推薦入試受験者は、H26は35名で、前年より大きく減少した。県内指向が強く、挑戦しない二高生が多い。学校の指導を見直し、生徒の視野の拡大を図っていききたい。

○進路意識の高揚

進路通信は、4月からすでに11号発行（1週間に1回のペース）してきた。生徒の進路選択の幅を広げ、生徒の長所を生かした進路指導のための研修を強化したい。

本年度の進路講演会は、福島大学教授の白石豊さんに講演をお願いした。ものの見方、考え方を外部の人に話してもらうことは生徒に良い影響を与えている。幅広い視点で進路選択をさせ、自己実現を図らせていききたい。

オ 保健厚生課

○健康管理および保健指導の徹底

予定どおりに4～6月で各種健康診断が終了し、現在事後指導を行っている。健康教室は学年毎に実施している。

○保健衛生および安全管理指導の徹底

ほこりがたまりやすいので掃除機を活用している。生徒の自主性を促せるよう、保健委員の指導を工夫している。

間食調査を2回実施し、授業の合間に食べることが習慣化していることがわかった。歯磨きの習慣を徹底させたい。

○保健組織活動の充実

毎年、学校保健委員会を開催し、保健指導の充実を図っている。

4 懇 談

【評議員】 授業参観をさせていただいたが、教室にあった”おやつゴミ箱”とは何か。

【保厚課】 保健委員が中心になって、目に見えて、どれだけ食べているかを調査している。間食は、虫歯や歯周病などが多くなる原因であり、改善が必要と考えている。

【評議員】 学校HPはどこで担当しているのか。

【校 長】 情報・研究課が取りまとめているが、各ページの作成は担当職員がそれぞれ行っている。

【評議員】 学校評議員に打診されてから、HPを気をつけて見ているが、過去のものがいままで掲載されていたり、新しい知りたい情報がなかなかアップされていないこともある。曜日など間違っているものもあった。中学校の関係者が高校の情報を得るのに最初に見るのが学校HPだと思う。高校進学は将来への重要なステップであり、特にも大学への進学状況は知りたいことのひとつと思われる。早くて確かな情報が提供されるよう努力して欲しい。

【校 長】 HPは重要な情報提供の方法であり、正確な情報を速やかに発信できるよう工夫したい。

【評議員】 学校評議員になったら学校の応援団。だからこそあえて、「忙しい」では済まされたいと言いたい。進路状況のデータについても、途中経過でも良いのでスムーズに掲載するべきだと思う。

【副校長】 学校案内については、年々情報量を増やしてきている。本年度も中学生一日体験入学に合わせて作成しようと考えているが、ご覧いただいた昨年度の学校案内についてご意見をいただきたい。

【評議員】 他校と比較すると目立たない。表紙のタイトル（学校名）が小さいし、インパクトを強めた方がよい。

【副校長】 地域との連携についてご意見をお願いしたい。

【総務課】 本校が置かれている環境は住宅街であり、どこまで地域との関わりやコミュニティが持てるか思案している。

【副校長】 部活動では、マンドリン・ギター部が天満宮や養老施設で演奏を行っている。箏曲部、音楽部、吹奏楽においても、地域の各種イベントに積極的に参加している。このような活動を今後も大切に続けていきたい。

次に、教務課からの諮問事項である、盛岡二高に期待されていることは何かについて、ご意見を伺いたい。

【評議員】 二高のイメージに憧れがある。国公立大学の合格率の向上を期待する。県立女子高校として、もう少し頑張れないか。55分授業が、それに対する具体的な方策だと思うが、1年では答えが出ないと思う。様々な工夫の積み重ねで国公立60名まで持って行って欲しい。盛岡二高だったら、生徒も教師ももっとトライしても良い。生徒をその気にさせて欲しい。調査によると、盛岡二高に入学したことに対する満足度は高い。しかし、入っただけで満足して良いのか。次のステップが必要である。

【副校長】 次に生徒指導に関して、生徒の通学マナーや身だしなみについてご意見をいただきたい。

【評議員】 加賀野一丁目町内会としては、朝登校時の自転車のことが気になっている。8時15分の着席に間に合うために、すごい勢いで走って行く。生徒達はこれから未来のある子供達であり、自分を守るという意味でもよく指導して欲しい。万一事故に遭った時でも、車が悪い時もあるので、相手（大人）の言いなりになってしまう怖さもある。けがだけでなく、そのような点にも事故の怖さがあると思う。

【副校長】 自転車の乗り方については、学校でも大きな課題である。

次に進路について、女子校（女子教育）のアピールすべきことについてご意見をお願いしたい。

【評議員】 私は長年、仕事として面接試験に負けないコツを指導してきた。コミュニケーション能力の向上が大切である。いくら良い子でもしゃべりができていないことでアウトと言うこともある。それは気の毒なことだ。ある人が、新採用者に言った言葉に、「コミュニケーション能力のない者は去れ」というものがある。人事担当者に対してどういう生徒を採りたいかという問いに対し、断トツに多い回答は「コミュニケーション能力の高い生徒」である。

【副校長】 その他、授業参観の感想などもお聞かせ願いたい。

【評議員】 生徒の様子はとても立派に見えるが、とても大人しく悪く言えば覇気がないように思えた。教師は、発問などを工夫して、生徒に「教える」部分と「考えさせる」部分を意識して指導してもらいたい。

【評議員】 板書だけだと、教師との距離を感じる。立ち位置を工夫した方が良いと思う。

【評議員】 授業参観は何度か見せてもらっているが、短い時間で様々な授業を見るので、全体像を捉えられない。次回は、学校で推薦する授業をじっくり見てみたい。

【評議員】 資料の中に、「二高に入って良かった」というのが90%とあるが、何が良かったのかが見えてこない。その良さをもっと、自信を持って伝えて欲しい。子供達には、ぜひ、充実した3年間を過ごして欲しいと願っている。

5 その他

【副校長】 予定の時間を過ぎてしまい、充分にご意見をいただけない部分もあったが、次回はもっと協議の時間を確保したい。第2回の学校評議員会は、来年の2月の下旬を予定している。

【総務課】 校歌祭（7月10日開催）紹介

【評議員】 盛岡てがみ館 企画展「戦後70年記念 家族のてがみ」～手紙に刻まれた戦争の記憶～
（6月23日～10月19日開催）ご紹介

【校長】 貴重な御意見・御指摘に感謝する。多くの方々に期待をもって見守られているということを生徒に伝えるとともに、自らもその自覚をもち生徒を指導していきたい。
本日はありがとうございました。

6 閉会のことば 【副校長】

配付資料名 平成27年度第1回学校評議員会資料
平成26年度学校案内
平成26年度 盛岡二高PTA通信（第1・2号）
平成26年度白梅同窓会報（第5号）
6校時授業一覧